

# YA 通信

No61 2014年11月号  
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代  
=10代のみなさんのた  
めの読書情報誌です。  
ご紹介する本は特に記載  
がない限り、図書館3階Y  
Aコーナー所蔵です。



New!!



## 『ロボットは東大に入れるか』

あらい のりこ  
新井 紀子/著 イースト・プレス 00/ロ/14

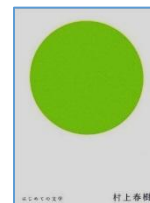
ロボットは東大の入試をクリアできるのか、  
という点から、ロボットと人間の考え方や認  
識の違い、ロボットの現状などを解説して  
くれています。ロボットには何ができて何が  
苦手なのか。逆に人間が勝っているところ  
は何か。そして将来、人間とロボットの関  
係はどうなっていくのか。

学生を相手にした講義を元にかかれています  
ので、とても読みやすく理解しやすいもの  
となっています。また第2章にあるロボットの  
全国センター模試の結果と解説などもなか  
かに興味深いかと思えますよ。



## 名作だからばこ

『はじめての文学 村上春樹』村上 春樹/著 文藝春秋 913/フン/06

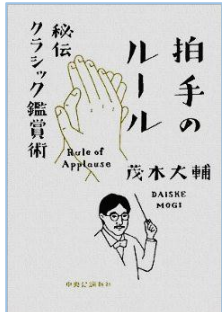


新作が発売されると書店に行列ができ、翻訳され世界中でも読まれている村上春樹の作品。  
しかし、「ちょっと難しそう」「何から読めばいいかわからない」と思っているYA世代の  
人、意外と多いのではないのでしょうか？この本には、著者自身がYA世代向けに選んだ短編  
とその解説が収録されているため、初めて読む人にもぴったりです。不思議な話、ぞっとす  
る話、考えさせられる話までその中身は実に多彩。自分なりの読み方を見つけてみませ  
んか。この本を読み興味を持ったなら、ぜひ他の短編集や長編作品も読んでみて下さい！

# 音楽

冬が近づいてくると音楽が身近になってくるような気がしませんか？クリスマスには聖歌やクリスマスソング。年末が迫ってくると第九が聞こえてきたり、日本人なら紅白とかもありますね。

そんな時期ですし、今回紹介しているような本を読んで、冬という季節をより楽しんでみませんか？



『拍手のルール 秘伝クラシック鑑賞術』 <sup>もぎ</sup>茂木 <sup>だいすけ</sup>大輔/著 中央公論新社 760.4/ハ/08

## 4階一般閲覧室

拍手のルールということは拍手にもルールがあるの？と疑問に思われたことでしょうか。演奏会での正しい拍手の仕方とは？クラシック音楽のコンサートはなぜ敷居が高いのか？などなど知りたかった疑問が分かります。また、聴衆と演奏者のコミュニケーションの唯一の手段である拍手をその性質やマナー、常識にいたるまで分析・紹介されていますので、この本を鑑賞の手引きとして音楽を楽しんでみてはいかがでしょうか。

『ビートルズを知らない子どもたちへ』 <sup>きたやま</sup>きたやま <sup>おさむ</sup>おさむ/著 アルテスパブリッシング

764.7/ヒ/09

なぜ、世界中がビートルズにあれほど熱中したのか。当時を知らないと思議になりませんか。その謎がこの本を読めば分かるかもしれません。ビートルズの歌をリアルタイムで聞き熱中した筆者が、メンバーの生い立ちからバンド結成、黄金時代そして解散までを書いています。音楽はレコードを大切に扱いながら聞くもので、ラジオに必死に耳を傾けた時代。音楽に現代とは違う重さがあった1960年代、世界中を熱狂の渦に巻き込んだ4人組の正体とは・・・ぜひ、ビートルズの歌を聞きながら読んでみて下さい。

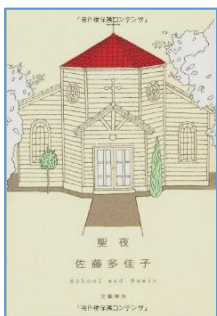


『聖夜』 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>たかこ</sup>多佳子/著 文藝春秋 F/サト/11

主人公はとあるミッション系の学校のオルガン部で部長を務める男性です。彼はとある理由で神への信仰を失ってしまいましたが、そんな自分が神についての曲を演奏するのはどうなのか、と悩んでいきます。

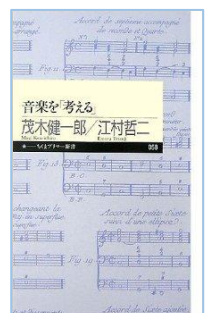
設定だけ聞くと、非凡で共感できなさそうな気もしますが、親に対する想いや周囲への振る舞い。自分が好きなことについてのスタンスと将来について。噛み砕いていけば主人公の悩みはごくごくありふれたことで、だからこそ人の心に刺さります。

同じ作者の音楽に関連した短編集「第二音楽室」もオススメです。



『音楽を「考える」』 <sup>もぎ</sup>茂木 <sup>けんいちろう</sup>健一郎・<sup>えむら</sup>江村 <sup>てつじ</sup>哲二/著 筑摩書房 76/オ/07

現代社会の中で、私たちは沢山の音楽に囲まれて生活しています。TVをつければCMやドラマなどの番組には必ずといっていいほどBGMが付き、週に一度は娯楽として音楽番組が放送されています。ショップやカフェでも多くの店で音楽が流れています。この本は、そんな私たちの一番身近にある「音楽」について、脳科学者・茂木健一郎と作曲家・江村哲二のふたりが語り合ったものです。あなたもこの本とともに「音楽」について考えてみませんか？

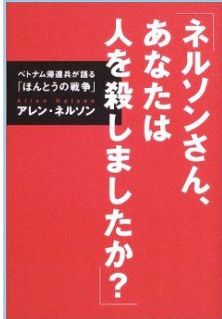




世界史

『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?』

アレン・ネルソン 講談社 93/コウ/03 3階児童



人間の歴史は争いだらけです。現在平和な日本を含む多くの国も例外ではありません。日々のニュースを見ても分かるように、戦争や紛争は悲惨なものです。だからこそ、私達は悲惨な過去を繰り返さないために歴史を学び、知ろうとします。しかし、知ることができる多くは被害者目線の戦争です。この本には、ベトナム戦争へ行ったアメリカ兵のネルソンさんが戦争を通じて見たもの、経験したことがそのまま書かれています。是非読んで自分たちの知っている戦争と、彼の経験した戦争を比べてみてください。加害者にも被害者にもなってしまう彼らの苦しみは、戦争をもう一度考えるきっかけになるはずです。

## ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『ゼバスチアンからの電話』 イリーナ・コルシュノフ/作 いしかわ もとこ よしはら たかし 石川 素子・吉原 高志/訳 福武書店

94/セ/Z 本館閉架ほか

主人公の少女、17歳のザビーネとその母親の、ある意味成長の物語です。

固定電話という伝達手段を除けば、この作品が30年以上前に発表されたものとは感じられません。家族がいて、恋人がいて、夢があって、そして悩みもある。ザビーネに自身を投影することができるYA世代は少なくないでしょう。

物語の後半、彼女は変わります。

女性の社会進出が論議されている現代に生きるYA世代の皆さんに、ザビーネの決断を読み取って欲しいと思います。

古いけど古くない! YA傑作の一冊です!

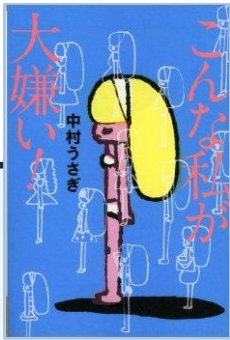


クリエイター: 音楽、物語、プログラムなど何かを作り出す人



『クリエイターになりたい』 しごと応援団/編著 理論社 70/ク/08

将来、自身で何かを生み出す仕事がしたいというあなたにオススメの本。音楽、文章、コンピューター、映像などなど、クリエイターといっても活躍する場所は人によって多種多様です。各分野にインタビューや、仕事の内容などの他に、働くということについてクリエイター自らの考えが書かれている本なので、ぜひ読んでみてください。



## YA担当イチオシ!

### 『こんな私が大嫌い!』

なかむら

中村 うさぎ/著 イースト・プレス 914/リロ/09

#### どんな本?

自分のことが好きですか?嫌いですか?もし自分のことが嫌いだとしたら自分を嫌いのまま生きていくのはなかなか苦しいことです。この本では自分嫌いのプロの著者が自分嫌いとの付き合い方を説いてくれています。読み進めていくと自分のことが嫌いでもちゃんと生きていける方法はあるんだと気付くことができます。

#### ここがオススメ!

自分の体験に基づいて記されているので、自分嫌いにも必ず出口があるんだという説得力があります。また、学校でも家でも教えてもらえなかったリアルな知恵が満載です。「あるがままの自分を受け入れよう」なんてきれいごとを蹴散らそうという著者ならではの発想で自分嫌いの呪いを解き放つための一冊となっています。

## YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本  
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」  
「△△の本はどこ?」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。

#### 春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/>

ケータイサイトはQRコードから→



※表紙画像の掲載にあたっては出版社に許諾を得ています。